

アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

8

2006

第131号

特集●

中国＝東南・南アジア経済関係の現在

分析レポート●

イラク政治の方向性



CONTENTS

2006・8月号
第131号●目次

1 巻頭エッセイ 中国の経済建設と南進政策

小島麗逸

特集 中国＝東南・南アジア経済関係の現在

- | | |
|---|------|
| 2 ●特集にあたって—相互投資とF T Aの時代を迎えたアジア | 大西康雄 |
| 4 ●踊り場にさしかかる韓国の対中貿易・投資関係—韓国の対中傾斜と中国のキャッチアップ | 奥田 聡 |
| 8 ●タイ企業の中国投資—C P グループの事例 | 東 茂樹 |
| 13 ●中国企業のタイ投資—華源集団の事例 | 東 茂樹 |
| 16 ●インドネシアへの中国製品流入と対中投資—外からも内からも迫る国内製造業の危機 | 松井和久 |
| 20 ●中国依存強めるミャンマー経済—厳しさ増す国際環境の中で | 工藤年博 |
| 24 ●A S E A N・中国F T Aをどうみるか | 石川幸一 |
| 28 ●中印貿易の急拡大と中印F T A計画 | 馬 成三 |

32 トrend・リポート エリトリアにおける援助の「拒否」という実験の現在 細野亜希子

36 分析リポート イラク政治の方向性—挙国一致と宗派対立 渡邊正晃

44 フォト・エッセイ 竹でできたスラム—バングラデシュ 山形辰史

48 カルチャー・ショック

外国人のみた日本	日本人と社会秩序から思うこと	朱 振明
日本人のみた外国	不世出の経済学者、故エンカルナシオン教授の想い出	二村泰弘

50 ブックシェルフ

新刊紹介／樋口まち子著『もうひとつの島国・スリランカ—内戦に隠れた文化と暮らし』	荒井悦代
レファレンスコーナー／貿易統計データを探す	石崎えり子

52 アジア各国・地域 経済統計 図書館資料サービス課

56 研究所だより

◆表紙写真：中国・上海の南京路歩行街（写真提供：セブンフォト、撮影：河口信雄）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

アジア動向年報 2006

662 ページ 6,615 円（税込み価格）



2005 年のアジア諸国・地域の主要経済指標

2005 年のアジア——中国・インドの高成長とアジア域内をめぐる主導権争い…………… 松井和久

●主要トピックス

アジアの FTA——2005 年は東アジア共同体の議論が本格始動…………… 梶田朗
ASEAN——第 1 回東アジア・サミットの意義と課題…………… 須藤季夫
アメリカとアジア——内政の重圧の下で…………… 村田晃嗣
原油高とアジア経済——石油価格高騰のアジアへのインパクト…………… 小川芳樹

●各国・地域の動向

大韓民国／迷走する盧武鉉政権の内外政策…………… 石崎菜生・奥田聡・渡辺雄一
朝鮮民主主義人民共和国／核保有宣言の衝撃と 6 カ国協議の進展…………… 文浩一
モンゴル／政治を不安定化させる民主党の内紛…………… 鯉淵信一
中国／高度成長のジレンマ…………… 今井健一・松本はる香・山口真美
香港特別行政区／曾蔭権時代の幕開け…………… 谷垣真理子
台湾／泥沼化する与野党の対立…………… 竹内孝之・池上寛
ベトナム／党大会の準備を進めつつ高成長を達成…………… 寺本実・荒神衣美
カンボジア／人民党の一人勝ち…………… 天川直子
ラオス／2020 年の国家目標達成に向けた第一歩…………… 山田紀彦・天川直子
タイ／2 期目のタクシン政権——勝利から一転、不安定化する政局…………… 船津鶴代
フィリピン／アロヨ大統領の信頼揺らぐ…………… 鈴木有理佳
マレーシア／構造改革への長い道程…………… 中村正志・梅崎創
シンガポール／リー首相、無難な政権 1 年目の運営…………… 岩崎育夫
インドネシア／アチェ和平合意と「石油ショック」…………… 松井和久・佐藤百合
東ティモール／国づくりの着実な進展…………… 水野久美子
ミャンマー／国軍の再結束——独自路線つらぬく軍政…………… 工藤年博
バングラデシュ／頻発する爆弾テロ、高まる連立政権への批判…………… 長田満江
インド／国際社会で高まるインドの存在感…………… 村山真弓・椎野幸平
ネパール／国王と反政府政党勢力との出口なき抗争…………… 水野正己
スリランカ／進まぬ津波復興、危機に瀕する和平…………… 荒井悦代
パキスタン／カシミール管理ライン越えが実現…………… 牧野百恵
アフガニスタン／「ロードマップ」の最終段階——議会選挙実施…………… 萬宮健策
中央アジア諸国／キルギスタン、ウズベキスタンでの動乱とその余波…………… 湯浅剛
ロシア極東／深まるロシア・中国関係…………… 平泉秀樹

（各国・地域の動向には、それぞれ「重要日誌」「参考資料」「主要統計」を掲載）

●使用した主要紙誌および通信・放送

アフリカ—そこに生きる人々を語る—

現地経験豊富な研究者が、開発途上国の人々の生活を身近に感じていただけるようにわかりやすく講演いたします。参加費は無料です。皆様お気軽にご参加ください。

第1回	8月3日(木) 14:00～15:30
「チョコレートのもとのもと —ガーナのカカオ農民—」 講師：高根 務 (地域研究センター アフリカ研究グループ)	
第2回	9月7日(木) 14:00～15:30
「ケニア —スラムってどんなところ?—」 講師：津田 みわ (新領域研究センター 国際関係・紛争研究グループ)	
第3回	10月5日(木) 14:00～15:30
「ナイジェリア —荒れる『若者』の正体—」 講師：望月 克哉 (新領域研究センター)	
第4回	11月2日(木) 14:00～15:30
「エイズとともに生きる社会 —ウガンダの女性と児童—」 講師：吉田 栄一 (地域研究センター アフリカ研究グループ)	

- ★ 講演終了後、ご希望の方にはアジア図書館見学ツアーを実施いたします。
関係資料の展示も行っておりますので、どうぞご参加ください。
会場：日本貿易振興機構（ジェトロ） アジア経済研究所 C21 会議室
（千葉市美浜区若葉 3-2-2）
定員：各回 40 名程度
（申込者多数の場合には収容人数の関係で会場が変更になる場合がありますが、別途お知らせいたします。）
- ★ お申込み方法
下記宛に、①「途上国理解市民フォーラム」参加希望回（複数可）
②氏名
③連絡先（住所、TEL、FAX）をご連絡ください。
アジア経済研究所図書館 資料サービス課 宛
TEL：043-299-9716 FAX：043-299-9734 Email：LID@ide.go.jp

—研究所だより—



- ▼出版物のご案内
- 『現代の中東』No.41 七三三円（税込）
- 研究双書
* No.551 平塚大祐編『東アジアの挑戦—経済統合・構造改革・制度構築—』五、二五〇円（税込）
- アジ研選書
* No.2 内川秀二編『躍動するインド—経済—光と陰—』四、二〇〇円（税込）
- * 問合せ・申込先：研究支援部成果普及課（販売担当直通）

平成 18 年度発展途上国研究奨励賞の決定

昭和 55 年に創設された「発展途上国研究奨励賞」は、発展途上国に関する社会科学およびその周辺分野における調査研究の優れた業績を評価し、この領域における研究水準の向上に資することを目的としています。
今回選考の対象となったのは、平成 17 年 1 月から 12 月までの 1 年間にわが国で公開された図書、論文など発展途上国の経済、社会などの諸問題を調査、分析したものです。
平成 18（2006）年度は下記の作品が選ばれました。

- 受賞作品 『複雑適応系における熱帯林の再生—違法伐採から持続可能な林業へ—』
●著者 関 良基
（財）地球環境戦略研究機関（IGES）
・客員研究員
●出版 (株)御茶の水書房



〈最終選考対象作品〉
最終選考の対象となった作品は受賞作のほか、次の作品でした（著者五十音順）。

- 王 京 濱 著『中国国有企業の金融構造』（株）御茶の水書房
- 川端 望 著『東アジア鉄鋼業の構造とダイナミズム』（株）ミネルヴァ書房
- 駒形 哲哉 著『移行期中国の中小企業論』（株）税務経理協会

▼次号の特集は「グローバルなルール形成と開発途上国」です。

▼出版物のご案内（続き）

TEL: 043-2699-9735
FAX: 043-2699-9736
* 研究所出版物は図書館1階のブックストアでもお求めになれます。
（営業日時：月・水・金及び第1・第3土曜日 10:00～17:00 図書館休日は休業）

『アジ研ワールド・トレンド』 第12巻第8号 通巻131号

2006 年 8 月 1 日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所
研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2

TEL 043 (299) 9735 FAX 043 (299) 9736

http://www.ide.go.jp

印刷

広研印刷株式会社



——アジアきりえ紀行——

ライステラス

インドネシア

仏教伝来の東の果て、インドネシアのボロブドールのスケッチ旅行に行きました。ここでは、熱帯の気候を生かした米の3期作がライステラス（棚田）で行われており、その圧倒的なダイナミックな造形美に感動しスケッチしました。また、インドネシアの踊りには色々な種類があり、男女とも生き生きとした踊りで魅力的でした。そして、ワヤンの人形達にも魅せられ、博物館で精巧なミニチュアを購入でき、個展の会場に飾りました。

インドネシアの熱い風と音の響きに感動した旅でした。

（きりえ／解説・日本きりえ協会常任委員 坂部信子）